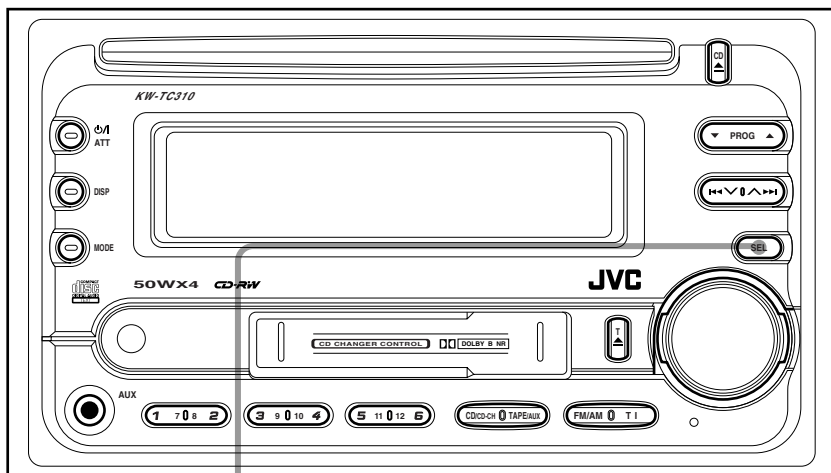


CD/カセットレシーバー

型名 KW-TC310



デモ表示について

- ・本機の操作を20秒以上しないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。解除するときは、29ページの「SELボタンのモード一覧」をご覧ください。「DEMO OFF」に切り替えてください。



— お買い上げありがとうございます —

⚠️ 使用前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意	3~5	・ブランクスキップをする	22
●使用上のご注意	6~7	・くり返して聞く(1曲リピート)	22
・CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて ...	7	・他のソース(音源)からテープ再生にする ...	22
●各部の名前	8~9	・カセットテープの取扱いかた	22
●リモコン(RM-RK41J:別売り)の使い方	10~11	・ミュージックスキャン(MS)をする	23
・リモコンの使いかた	10	・テープを取り出す	23
・電池の入れかた	10	・テープの盗難防止	23
・各部の名前	11	●CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く	24~27
●基本操作	12	・全曲演奏(全CDのくり返し演奏)	24
●時計を合わせる	13	・曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し ...	25
●ラジオを聞く	14~16	・数字ボタンでCDを選ぶ	25
・放送局を選ぶ	14	・10曲ずつ選ぶ(MP3チェンジャーのみ) ...	25
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる ...	14	・次または前のフォルダにスキップする(MP3チェンジャーのみ)	25
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる ...	15	・リピート演奏(くり返し演奏)	26
・放送局を呼び出す(プリセット選局) ...	15	・ランダム演奏	26
・道路交通情報を聞く	16	・イントロスキャン	27
・スキャン選局	16	・CD演奏中の表示内容を変える	27
・FM放送が雑音で聞きにくいときは ...	16	●他の機器の音を聞く	28
・IFフィルターを切り換える(FM放送のみ) ...	16	・CDチェンジャー端子を使うとき	28
・放送受信中の表示内容を変える	16	・フロントAUX端子を使うとき	28
●CDを聞く	17~20	●SELボタンを使って設定を変える	29~31
・曲の頭出し/早送り・早戻し	17	・各モードの説明	30~31
・CD-R/CD-RWディスクについて	18	●文字の入力のしかた	32~33
・CDテキストについて	18	・文字の入力と修正・削除	32
・ダイレクト演奏	18	・文字配列表	33
・リピート演奏(くり返し演奏)	19	●音量・音質の調節	34~35
・ランダム演奏	19	・EQパターンの呼び出し	35
・イントロスキャン	19	・調節したEQパターンをメモリーしておく ...	35
・CDのお手入れ	19	●放送局名一覧	36~39
・CD演奏中の表示内容を変える	20	●故障かな?と思う前に	40~41
・CDを取り出す	20	・こんな表示のときは	41
・CDの盗難防止	20	●保証とアフターサービス	42
●テープを聞く	21~23	●主な仕様	43
・曲の早送り/巻戻し	21	●お手入れ	裏表紙
・カセットテープの保管	21		
・ドルビーB NR方式で録音したテープを聞く	22		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起これば、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさくと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

指定の電池以外は使用しない。



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

ディスク挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

ディスク挿入口に手や指を入れない。



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気が多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くとときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの⊖側が車の金属部に接続されていたり、⊖側同士が接続されていると故障の原因になります。

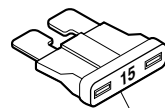
バランスド トランスフォーマーレス
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、運転中に携帯電話を使用すると、法律により罰せられます。

CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

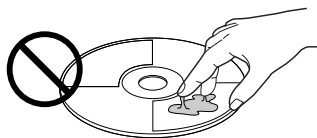
- **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは** 専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できなくなることがあります。

- **CD-R/CD-RWの取扱いについて** CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

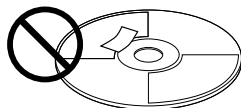
- **次のようなディスクは使用しないでください。**

本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。

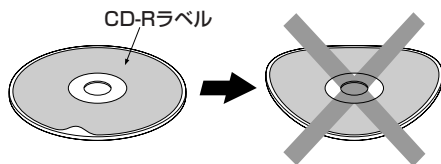
- ・ 中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみ出したり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルCDでシールが張ってあるもの (特にめくれているもの)



- ・ 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ・ ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの

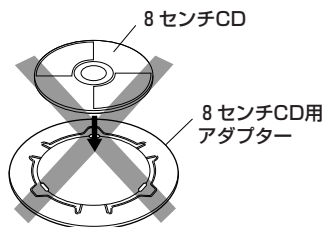


CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

- ・ ラベル面に直接印刷できる
インクジェットプリンター対応CD-R
(印刷したもの)

※ CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上のご注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。

- ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチCDは、そのまま挿入してください。



- 長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。

各部の名前

— ()内のページに説明があります。—

ディスプレイ
DISPボタン

(⇒16、20、27、32)

スイッチ
電源/ATTボタン (⇒12、20)

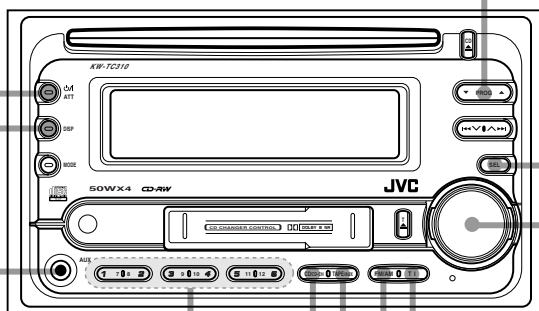
電源の「入」⇄「切」ができます。

セレクト
SELボタン

音量調節のモードが選べます。
2秒以上押しと、「PSM」が表示され時計合わせなどのSELボタンを使って設定を変えるモードになります。

(⇒13、29、34、35)

「CD」「CD-CH」のとき	「TAPE」のとき
▲、▼ボタン (⇒18、25)	プログラム PROGボタン (⇒21)



数字ボタン

- ・「ラジオ」のとき：
1～6が機能します。
(⇒15)
- ・「CD」「CD-CH」のとき：
1～12が機能します。
(⇒18、25)

チェンジャー
CD/CD-CHボタン*
(⇒12、24、28)

エーユーエックス
フロントAUX端子 (⇒28)

トラフィックインフォメーション
TIボタン* (⇒16)
道路交通情報を聞く
とき使います。

FM/AMボタン*
(⇒12、14、32)

テープ
TAPE/AUXボタン*
(⇒12、22、23、28、32)

回転ボリューム
音量調節や各種の設定が
できます。
(⇒12、13、29、32、34、35)

◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(∨、∧)

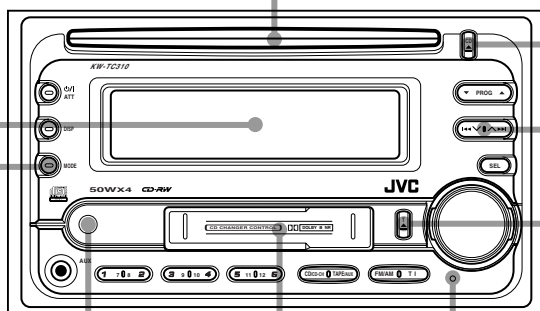
ソース(音源)によって働きが異なります。

ソース (音源)	「CD」「TAPE」 「CD-CH」	「ラジオ」
働 き	曲の頭出しや早送り、早戻し (巻戻し)ができます。 (➡17、21、25)	放送局を選局するとき使いま ず(オート選局/マニュアル選 局)。(➡14)

表示窓(ディスプレイ)

CD▲(取出し) ボタン(➡20)

CD挿入口(➡17)



テープ挿入口(➡21)

テープ
T▲(テープ取出し)
ボタン(➡23)

リモコン受光部

別売りのリモコン(RM-RK41J)
の信号をここで受信します。(➡10)

モード MODEボタン

ソース(音源)によって使いかたが異なります。

- ・「ラジオ」のとき:(➡14、16)
- ・「CD」「TAPE」「CD-CH」のとき:
(➡18、19、22、25、26、27)

リセットボタン

内蔵のマイコンをリセット
するとき使います。

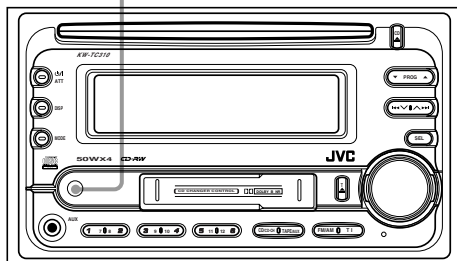
- ・初めて電源を入れたとき
- ・どのボタンを押しても動
作しなくなったとき

リモコン(RM-RK41J:別売り)の使いかた

リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- 別売りのリモコンに付属の電池は動作確認用です。
早めに新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。

リモコン受光部

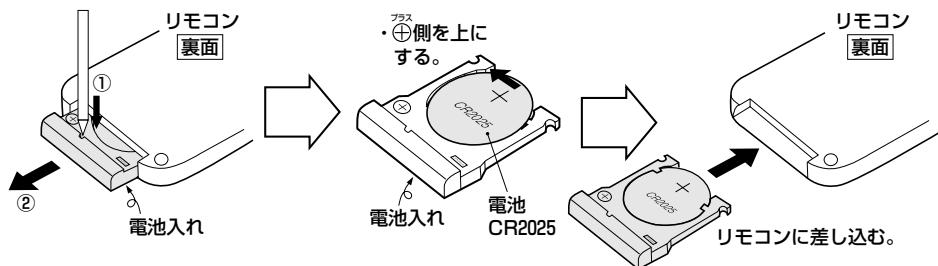


ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

各部の名前

電源/ATTボタン

電源を「入/切」するとき押します。
電源「入」のとき「ポン」と押すと音量を一時的に下げることができます。
「切」にするときは1秒以上押します。

ディスクバンド
DISC+/BAND
/PROGボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CD-CH」のとき：CDが選べます。
- ・テープのとき：テープの走行方向が選べます。

プリセット
DISC-/PRESET
ボタン

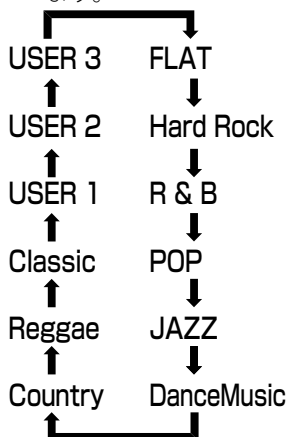
- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch~6ch)の選局ができます。
- ・「CD-CH」のとき：CDが選べます。

ボリューム
VOLUME+、-(音量)ボタン

- 音量の調節ができます。
- ・+：音量が上がります。
 - ・-：音量が下がります。

サウンド
SOUNDボタン

聞きたい音楽に合わせてEQのパターンがダイレクトに選べます。



ソース
SOURCEボタン

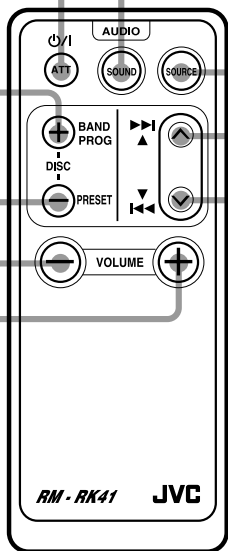
ソース(音源)を選ぶとき使います。押すごとに



と変わります。ただし本体にCDやテープが入っていないか、CDチェンジャーが接続されていないときは、そのソース(音源)は選べません。

△、▽ボタン

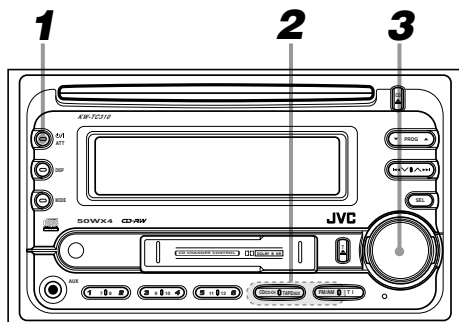
- ・「ラジオ」のとき：選局(自動選局)ができます。
 - ・「CD」と「CD-CH」のとき：曲の頭出しや早送り、早戻しができます。
 - ・テープのとき：早送り、巻戻しができます。
- (▲と▼の機能はありません)



基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。



1 電源を入れる



ATT

- 「HELLO⇒WELCOM」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はラジオ(FM1)…が表示されます。

2 いずれかのボタンを押してソース(音源)を選ぶ

	ソース(音源)	参照ページ
	CD *1	17
	↓ <small>チェンジャー</small> CD-CH *2	24,28
	「ラジオ」 FM1 → FM2 → AM1 ← AM2 ←	14
	TAPE *1	21
	↓ AUX INPUT	28

- * 1 本機にCDまたはテープが入っているときのみ
- * 2 CDチェンジャーが接続されているときのみ

- これらのボタンは、ダイレクトソース 切換機能のほかに電源を「入」することもできます。

3 音量を調節する



- 調節範囲
VOLUME 00 ~ VOLUME 50
(初期設定 VOLUME 15)

- 音量を一時的に下げる

●ATT(電源)/ATTボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

- 電源を「切」にする



ATT

●ATT(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

- 1秒以上押す。

- 車のエンジンキーが「OFF」でも次のボタンは、操作できます。

- CD▲(取出し)ボタン…CDの出し入れ
- T▲(テープ取出し)ボタン…テープの出し入れ
- DISPボタン…5秒間時計表示
ただし、電源を入れることはできません。

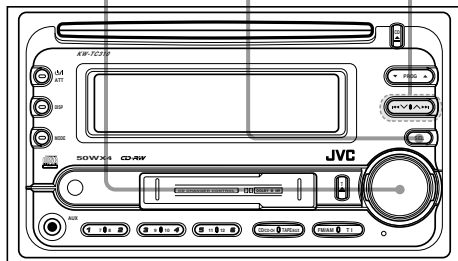
〈お知らせ〉

- 「CD-CH」は、SELボタンを使って設定を変えるとエクステルナル インプット「EXT INPUT」になり、外部機器を接続してご使用になれます(⇒29、31ページ参照)。
- 電源「切」のときに、CDまたはテープを入れると電源「入」になり演奏が始まります。
- CD▲(取出し)またはT▲(テープ取出し)ボタンは、電源「切」のときも操作できます。
- 音量・音質の調節は34～35ページをご覧ください。

時計を合わせる

時計を合わせる

3.1・3.3 1.4 2.3.2



1 SEL を2秒以上押す



・2秒以上押す。

・お買い上げ時は、「PSM」表示のあと「DEMO MODE」が表示されます。
 ・これ以外のときは、「PSM」表示のあと選ばれているモードが表示されます。

15秒以内に

2 左向き(または右向き)ボタンを数回押して「CLOCK HOUR」を選ぶ



逆の順番に選べます。

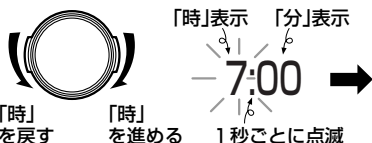
CLOCK HOUR

15秒以内に

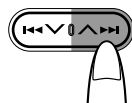
3 左向き(または右向き)ボタンで現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる
 (12時間表示方式です)

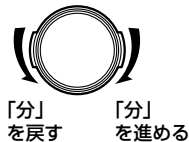
3-1 「時」を7に合わせる



3-2 「CLOCK MIN」を選び...



3-3 「分」を30に合わせる



15秒以内に

4 SEL を押す

・元のソース(音源)の表示に戻ります。
 SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

＜お知らせ＞

- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1～4の操作をします。
- 電源「切」のときも時計を表示させたいときは、30ページの「CLOCK DISP」をご覧ください。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、29～31ページをご覧ください。

ラジオを聞く

1 FM/AMでソース(音源)を「ラジオ」にし、バンドを選ぶ



・押すごとに
 FM1 → FM2 → AM1
 ← AM2 ←
 の順に選べます。



放送局を選ぶ

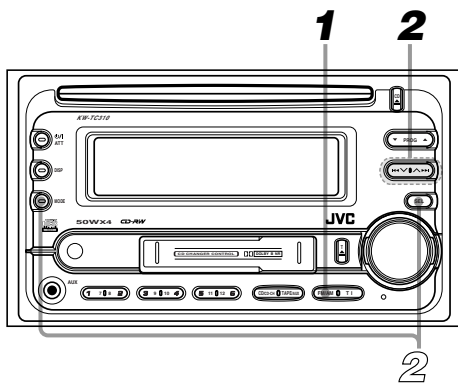
2 選局ボタン(または)を押して選局する



- **オート選局**：「ボン」と押して離す。(シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局**：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ボン・ボン」と押して選局する。
 - ・押すごとにFM放送は0.1MHz、AM放送は9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作終了から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。



放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 MODEで「—SSM—」を選び、SELを押す



終わるまで点滅表示されます。

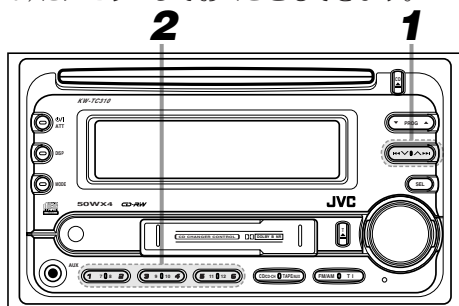
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの(70)から(510)にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン(7)に記憶された放送局が表示されます。
- バンドごとに最大6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにそのバンドにメモリーしてあった放送局は消えます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。→15ページ参照

放送局を選んでメモリー(記憶)させる

SSM機能を使って自動でメモリーさせるほかに、放送局を選んでから数字ボタン(1~6)にメモリーしておくこともできます。



例：FM放送の81.3MHzを①ボタンにメモリーする

1 選局ボタン(または)でFM81.3MHzを選局する

→14ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2 数字ボタンの①を2秒以上押す



・2秒以上押す。
押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

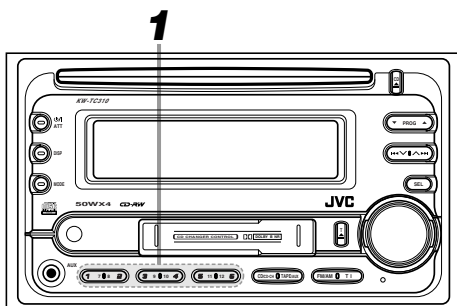
- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。

〈お知らせ〉

- この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、放送局が取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。押す時間が短いとメモリーされません。

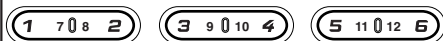
放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



1 数字ボタン(1~6)を押して選局する

(プリセット選局といいます)



- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。
(数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください)

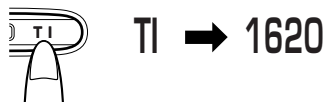
ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー(記憶)させた放送局は取り消されます。またその他すべての設定は初期設定に戻り、時刻表示も1:00になります。電源を接続したらもう一度始めから放送局や時計などを設定し直してください。さらに、本機のリセットボタンを押したときもメモリー(記憶)させた放送局は取り消されます。もう一度メモリー(記憶)させてください。

ラジオを聞く(つづき)





道路交通情報を聞く

1 を押す



高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでTI*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なく1620kHzが受信できます。

●AM1629kHzで道路交通情報を放送しているときは：

またはを押します。もう一度またはを押すと「1620kHz」に戻ります。

- TIボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しておりますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。

*TIとは…

トラフィック インフォメーション
Traffic Information(交通情報)の略です。

スキャン選局

放送局を探すときに使います。



- MODEボタンを2回押して「-SCAN-」を表示させる。
- SELボタンを押す。

自動的に周波数が高い方に移動し、放送局を探します。放送を受信するごとにその周波数が点滅表示され、約5秒間聞くことができます。聞きたい放送局のときはもう一度、MODEボタンを押します。スキャン選局が終了し、その放送を継続して聞くことができます。

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO ON」に切換えます。




- MODEボタンを3回押して「-MONO-」を表示させる。
- SELボタンを押す。

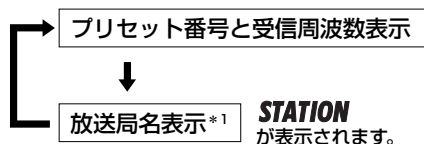
表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切換えます。FMステレオ放送を受信すると表示窓に「ST」が表示されます。

IFフィルターを切り換える(FM放送のみ)

本機のチューナーは、お買い上げ時IFフィルターが「オートAUTO」に設定されており、電波の強さや隣接妨害波などの影響を軽減するために自動でIFフィルターを切り換えています。また、SELボタンを使って設定を変えると、「ワイドWIDE」にすることもできます。(→29、31ページ「SELボタンを使って設定を変える」の「IF FILTER」参照)

放送受信中の表示内容を変える

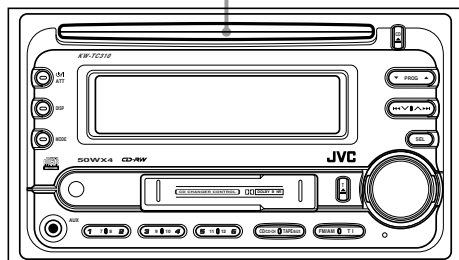
 DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



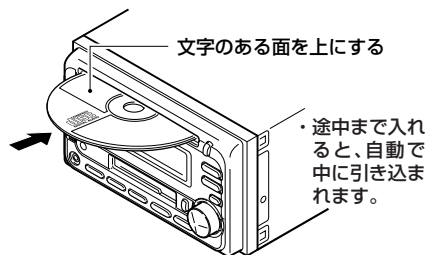
*1 「SELボタンを使って設定を変える」のStation Set の操作で放送局名を表示させることができます。「ご利用の地域を選ぶ」の操作(→29、30ページ参照)をすると表示されます。ステーションエリアを設定する前は「NO NAME」が表示され、約5秒後にプリセット番号と受信周波数表示に戻ります。なお、放送局名はスクロール表示されません。

CDを聞く

1




1 CDを入れる⇒ソース(音源)が「CD」になり演奏スタート



01 00' 05''

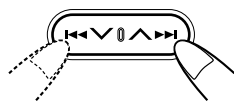
曲番号

演奏経過時間

- ・「— PLAY」表示中は、CDのデータを読み込んでいます。終わると総曲数と総演奏時間表示に変わり、1曲目から演奏がスタートします。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ・CDが入っていることを表すが表示されません。

- CD演奏中に電源を切ったときは電源を入れると、演奏が中断したところから自動的に演奏がスタートします。

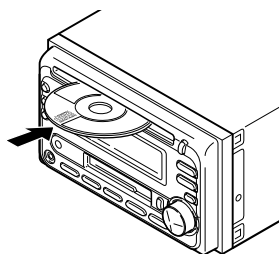
曲の頭出し／早送り・早戻し






曲の頭出し	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲の頭に戻ります。さらに押すごとに前の曲の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



〈お知らせ〉

- 文字のある面に  または 、 のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。
- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CDを聞く(つづき)

CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- MP3/WMAには対応しておりません。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

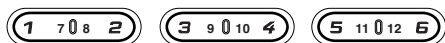
CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字、カタカナで「CDテキスト」データを表示します。DISPボタンを押すと表示が変わります。

ダイレクト演奏

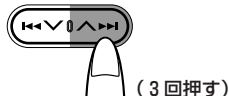
演奏中に別の曲がダイレクトに選べます。



- 1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3曲目のとき
- 7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12曲目のとき

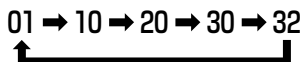
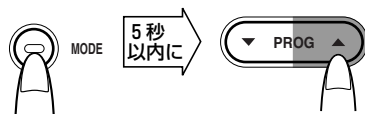


- 13曲目以上は
▶▶ボタンを併用します。
例：15曲目
- 1秒以上押す。
- 12+▶▶ボタンを押した回数の曲が演奏されます。



またMODEボタンと▲(または▼)ボタンを使うと、10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りフォルダのとき



- MODEボタンを押したあと▲ボタンを押すと、このような頭出しができます。▼ボタンを押すと、逆を選べます。

〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ▲(または▼)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

リピート演奏(くり返し演奏)

演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



- ・MODEボタンを2回押しして「REPEAT」を表示させる。
- ・SELボタンを押す。

TRACK RPT

- 表示窓に「**RPT**と♫」が表示され、1曲リピート演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「REPEAT OFF」が表示されます。

イントロスキャン

聞きたい曲が素早く探せます。
曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。



- ・MODEボタンを4回押しして「INTRO」を表示させる。
- ・SELボタンを押す。

TRACK INT

- 表示窓に「**INT**と♫」が表示され、イントロスキャンが開始されます。
- 途中でイントロスキャンを解除するときは、もう一度同じ操作をします。「INTRO OFF」が表示されます。
- 聞きたい曲が見つかったら◀◀ボタンを押してイントロスキャンを解除します。
- 一通りイントロスキャンが終わると解除されます。

ランダム演奏

CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



- ・MODEボタンを3回押しして「RANDOM」を表示させる。
- ・SELボタンを押す。

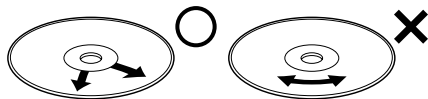
DISC RND

- 表示窓に「**DISC**と**RND**」が表示され、ランダム演奏になります。
- 解除するときは、もう一度同じ操作をします。「RANDOM OFF」が表示されます。

CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にご覧ください。



必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

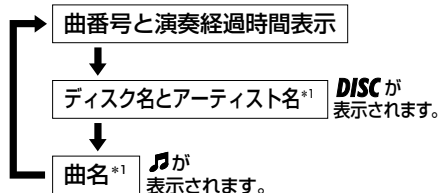
CDを聞く(つづき)

CD演奏中の表示内容を変える



DISP

DISPボタンを押すごとに、表示内容を変えることができます。



* 1 記録されていないCDでは「NO NAME」表示になります。

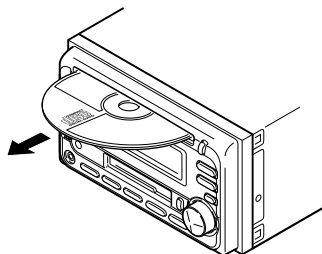
〈お知らせ〉

- ディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、お買い上げ時は自動で1回スクロールする状態：ONCEになっています。AUTO(自動)またはOFF(切)に変えることもできます(⇒29、31ページ参照)。
- CDテキストの文字表示については、カタカナおよび英数字で表示されます(⇒33ページ参照)。

CDを取り出す



CD▲(取出し)ボタンを押すと、「EJECT」が表示されCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出すと自動的に電源が切れます。

CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができません。



ON/ATT

と



を同時に2秒以上押す



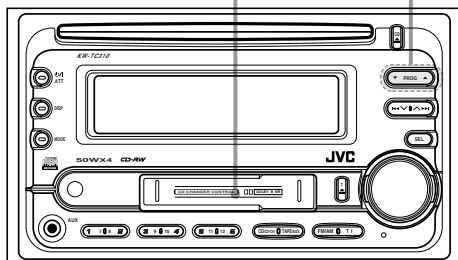
- 「CD」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

〈お知らせ〉

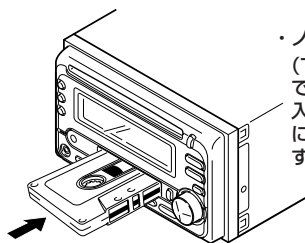
- リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

テープを聞く

1 2



1 カセットを入れる⇒ソース(音源)が「テープ」になり再生スタート



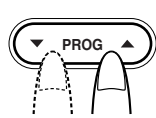
・ノーマルテープ (TYPE I) 専用です。上にして入れた面から先に再生されます。

➡ **FWD PLAY**

フォワード方向の再生の表示

・カセットを入れると が表示されます。

2 を押して聞きたい面に合わせる



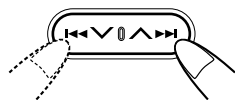
・どちらを押しても選べます。

FWD PLAY

REV PLAY

リバース方向の再生の表示

曲の早送り／巻戻し



早送り／
巻戻し

- ▶▶ : 1秒以上押し続けると、表示窓に「FF」が表示され巻き終わりまで早送りすると反転し再生に変わります。
- ◀◀ : 1秒以上押し続けると、表示窓に「REW」が表示され巻き始めまで戻ると再生に変わります。
- ・途中で再生状態にしたいときは、**PROG**ボタンを押します。

● 使えるカセットテープは

本機はノーマルテープ (TYPE I) 専用です。ハイポジションテープ (TYPE II) やメタルテープ (TYPE IV) は、音質が変わりますのでお勧めできません。

● キーオフリリース／キーオンプレイ機構について

本機は、テープ再生中にエンジンキーを「OFF」にすると、キーオフリリース機構により自動的にヘッドをテープから離してカセットのメカニズムを待機状態にします。再びエンジンキーを「ON」にすると、自動的にテープ再生がスタートします。

カセットテープの保管

- ・カセットテープはケースなどに納め、次のような場所は避けて保管してください。
- ・直射日光の当たる所
- ・ホコリや湿気の多い所
- ・スピーカーの上など磁気の影響を受けやすい所

テープを聞く(つづき)

ドルビー-B NR*方式で録音したテープを聞く

ヒスノイズ(サーという雑音)の少ない再生ができます。



- ・MODEボタンを1回押して「DOLBY B」を表示させる。
- ・SELボタンを押す。

DOLBY ON

- ・表示窓に「DOLBY B」が表示されます。もう一度同じ操作をすると「DOLBY OFF」になり解除されます。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DolbyおよびダブルD記号「DD」はドルビーラポラトリーズの商標です。

ブランクスキップをする

ブランクスキップは、曲の終わりの15秒以上のあき(ブランク)を早送りしたいとき使います。



- ・MODEボタンを2回押して「B.SKIP」を表示させる。
- ・SELボタンを押す。

B.SKIP ON

- ・表示窓に「B.SKIP」が表示され、再生中に15秒以上のブランクが続くと、自動的に早送り選曲になります。もう一度同じ操作をすると「B.SKIP OFF」になり解除されます。ただしテープを取り出しても解除されません。

くり返して聞く(1曲リピート)

再生中の1曲をくり返して聞くことができます。



- ・MODEボタンを3回押して「REPEAT」を表示させる。
- ・SELボタンを押す。

REPEAT ON

- ・表示窓に「RPT」が表示され、再生中の曲がくり返し再生になります。もう一度同じ操作をすると「REPEAT OFF」になり解除されます。テープを取り出したり、ソース(音源)を切換えたときも解除されます。

他のソース(音源)からテープ再生にする



本機にテープが入っているときは、TAPE/AUXボタンを押すだけでテープ再生に切り換えることができます。また電源が切れているときも、テープ再生にすることができます。

カセットテープの取扱いかた

- ・テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。
- ・テープを引きだしたり、テープ面にふれないでください。
- ・C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。長い時間再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。



矢印方向に鉛筆を回す


ミュージックスキャン (MS) をする

ミュージックスキャンは、曲間のあき(ブランク)を検出し曲の頭出しをします。前後9曲までの曲を飛び越して再生することができます。

例：上にして入れた面の3曲を飛び越すとき

1 を「ポン・ポン」と3回押す



(3曲戻すときは、 ボタンを3回押します)
自動選曲の状態になります。

2 頭出しができると再生が始まります

● 頭出しの途中でテープが終わると

巻戻しで巻き始めまで戻ったときは、その面の頭から再生状態になります。早送りでも巻き終わりまで行くと反転し、反転した面の巻き始めから再生状態になります。

〈お知らせ〉

● 次のようなテープは、ミュージックスキャンが正しく動作しないことがあります。

- ・小さい音が長く続く曲
- ・曲間が短かすぎたり、雑音が録音されている

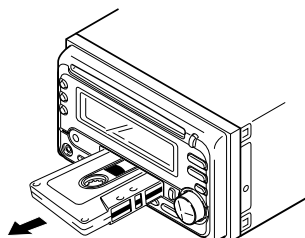
ブランクが4秒以上あるテープを使ってください。

テープを取り出す

T▲(テープ取出し)ボタンを押します。

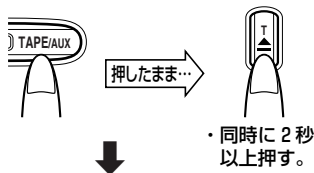



テープを入れる前のソース(音源)になります。本機はエンジンキーが「OFF」のときでもテープが入っていればT▲(テープ取出し)ボタンでテープを取り出せます。この場合、テープが出てくると自動で電源が切れます。



テープの盗難防止

本機に入れたテープを、他の人が取り出せなくすることができます。



- ・「TAPE 」が点滅表示され、テープの取り出しができなくなります。
- ・もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されテープの取り出しができます。

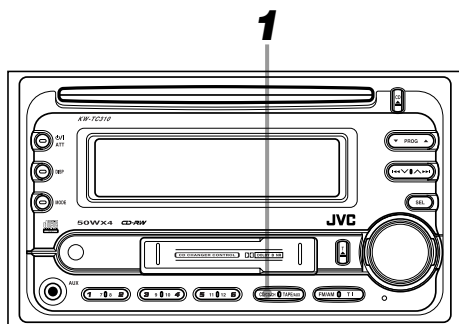
〈お知らせ〉

- リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されます。

CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1 **CD/CD-CH** を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

- 音楽用CDのとき
最初のCDの1曲目から演奏が始まります。

01 PLAY

01

① 曲番号 ② 演奏経過時間

01 00'01"

● 演奏を途中でやめる

FM/AM ボタンなどを押して他のソース(音源)に切換えます。
または電源を「切」にします。

- MP3ディスクのとき
ファイルチェック後、最初のCDのファイル1から演奏が始まります。

01 PLAY

FILE CHECK 点滅

ROOT (フォルダ名を)
5秒間表示

① CD番号 ② アルバム名/アーティスト名
[フォルダ名] *

TAG
001 foreve

③ 曲名
[ファイル名] *

TAG
001 holler

④ 曲番号 ⑤ 演奏経過時間

01 00'01"

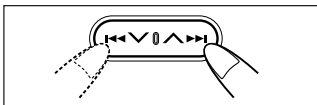
MP3
* TAG情報が記録されていないとき。

〈お知らせ〉

- MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
詳しくは、MP3チェンジャーに付属の「音楽用ファイルMP3 Q & A集」をご覧ください。
- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
 - ・ CH-MPシリーズのMP3チェンジャー (CDテキスト対応)
 - ・ CH-XシリーズのCDチェンジャー (CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し

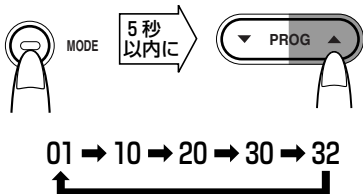


曲(ファイル)の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲(ファイル)の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲(ファイル)の頭に戻ります。さらに押すごとに前の曲(ファイル)の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

10曲ずつ選ぶ(MP3チェンジャーのみ)

MODEボタンと▲(または▼)ボタンを使うと、フォルダ内で10曲ずつダイレクトに選べます。

例：32曲入りフォルダのとき



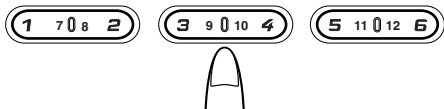
・MODEボタンを押したあと▲ボタンを押すと、このような頭出しができます。▼ボタンを押すと、逆を選べます。

＜お知らせ＞

- ・曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- ・▲(または▼)ボタンをくり返して押すときは、2秒以上間隔を空けないで押してください。

数字ボタンでCDを選ぶ

聞きたいCDが数字ボタンでダイレクトに選べます。選んだCDの1曲目から聞けます。



・1～6曲目
数字ボタンを「ポン」と押します。
例：3枚目のとき

・7～12曲目
数字ボタンを1秒以上押します。
例：12枚目のとき



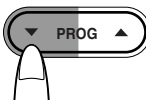
・1秒以上押す。

次または前のフォルダにスキップする(MP3チェンジャーのみ)



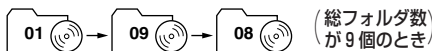
▲、▼ボタンの▲側を押すと、押すごとに、次のMP3を含むフォルダにスキップします。

例：MP3ファイルのフォルダ3を演奏中のとき



▲、▼ボタンの▼側を押すと、押すごとに、前のMP3を含むフォルダにスキップします。

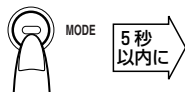
例：MP3ファイルのフォルダ1を演奏中のとき



CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

リピート演奏(くり返し演奏)

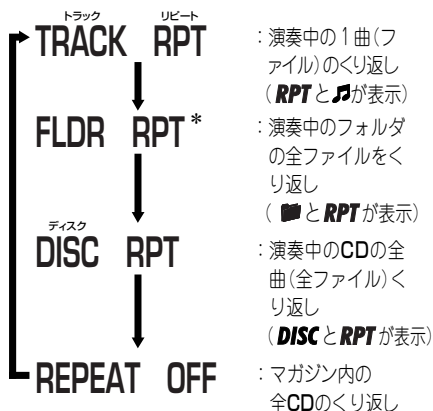
演奏中の曲をくり返して聞くことができます。



・MODEボタンを2回押しして「REPEAT」を表示させる。



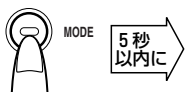
・SELボタンを押してリピート演奏のモードを選ぶ。



*MP3チェンジャーでMP3ディスクを演奏しているときのみ

ランダム演奏

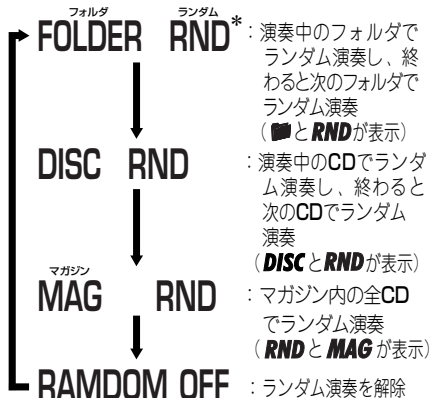
CDの収録順に関係なく、ランダム(無作為)な順番で聞くことができます。



・MODEボタンを3回押しして「RANDOM」を表示させる。



・SELボタンを押してランダム演奏のモードを選ぶ。



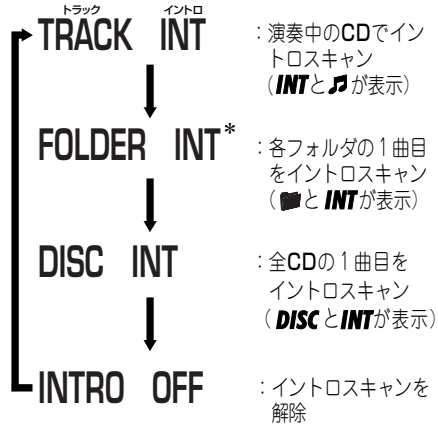
*MP3チェンジャーでMP3ディスクを演奏しているときのみ

イントロスキャン

聞きたい曲やCDが素早く探せます。曲の頭を15秒ずつ演奏していきます。聞きたい曲またはCDが見つかったら◀◀ボタンを押してイントロスキャンを解除します。

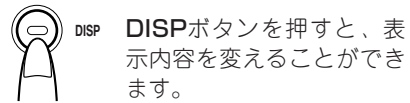


- ・MODEボタンを4回押して「INTRO」を表示させる。
- ・SELボタンを押してイントロスキャンのモードを選ぶ。

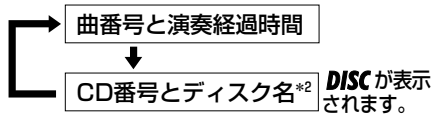


*MP3チェンジャーでMP3ディスクを演奏しているときのみに

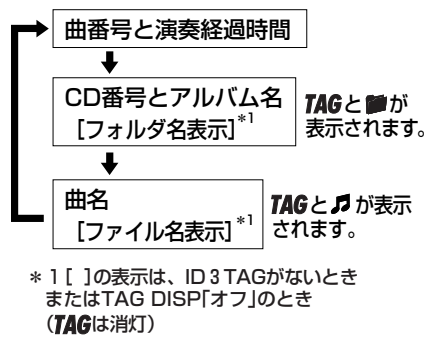
CD演奏中の表示内容を変える



●音楽用CDのとき



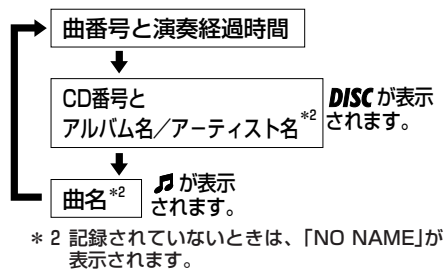
- MP3 ディスクのID3 TAGがあるとき(TAG DISP「オン」のとき) TAG DISPの「オン/オフ」設定は29、31ページをご覧ください。



＜お知らせ＞

- 表示できる文字は半角英数字、カタカナです。その他の文字は正しく表示されません(⇒33ページ参照)。

●CDテキストのとき



＜お知らせ＞

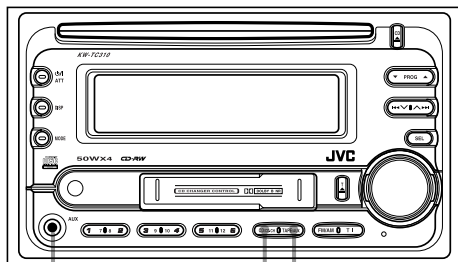
- 文字表示については、半角英数字が表示されます。漢字、全角文字および一部の記号などは表示されません(⇒33ページ参照)。
- CH-X1200 で日本語のCDテキストを演奏しても、日本語は表示されません。

他の機器の音を聞く

CDチェンジャー端子を使うとき

準備

- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。
→別紙の取付説明書参照
- CD-CHのソース(音源)を「EXT INPUT」に切換えておきます。
→29、31ページ参照



フロントAUX端子 **1 1**

1 CD/CD-CH を押してソース(音源)を「EXT INPUT(ライン入力)」にする



- *本機にCDが入っているときのみ
- 表示窓が「EXT INPUT」表示に変わります。



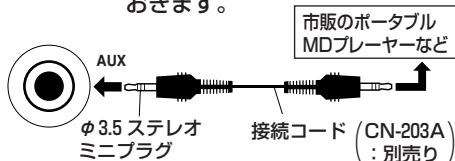
〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器がステレオミニ端子のときは、KS-U58(別売り)が使えます。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、EXT INPUTがご利用になれません。

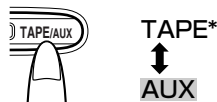
フロントAUX端子を使うとき

準備

- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



1 TAPE/AUX を押してソース(音源)を「AUX」にする



- *本機にテープが入っているときのみ
- 表示窓が「AUX INPUT」表示に変わります。

2 接続した機器を演奏状態にする

- 接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- フロントAUXの音が小さいときは、SELボタンを使って「AUX ADJUST」を選び入力感度を調節します。→29、31ページ参照

SELボタンを使って設定を変える(つづき)

各モードの機能説明

デモ モード DEMO MODE

表示窓のデモ表示を「オン/オフ」することができます。

- **DEMO ON** : 本機を20秒以上操作しないと、デモ表示になります。
- **DEMO OFF** : デモ表示を解除。

クロック ディスプレイ CLOCK DISP

エンジンキーが「ON」またはACC「ON」の場合に、本機の電源を「切」にしたとき表示窓に時計を表示させておくことができます。

- **CLOCK ON** : 時計を表示します。
- **CLOCK OFF** : 時計は表示しません。DISP ボタンを押したときだけ5秒間表示します。

〈お知らせ〉

- 車のエンジンキーが「オフ」でも、本機の電源が「切」にならない車種のときは、「**CLOCK ON**」に設定しないでください。バッテリーを消耗する原因となります。

レベル メーター LEVELMETER

表示窓のレベルメーターの表示内容を切換えることができます。入力信号に応じて振れます。

- **LEVEL ALL** : LEVEL 1～4のくり返し
- **LEVEL 1** : } LEVEL 1～3は上と下の表
- **LEVEL 2** : } 示部がレベルメーターにな
- **LEVEL 3** : } ります。LEVEL 1～3で振
- : } れかたは異なります。
- **LEVEL 4** : 下の表示部のみがレベルメーターになります。
- **OFF** : レベルメーターなし

ディマー DIMMER

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

- **AUTO** : 車両のライトのON/OFFに連動して明るさが変わります。
(本機の「イルミネーション」コードを車両のイルミネーションに接続しておきます)
- **OFF** : 明るさは変わりません。
- **ON** : 常時暗くなります。

ステーション セット StationSet

お使いになる地域の放送局を受信したとき、自動でその放送局名を表示させることができます。

- **エリアナシ** : 放送局名は表示しません
- **ホッカイドウ、トウホク、カントウ、チュウブ、キンキ、チュウゴク、シコク、キウシュウ、オキナワ** : 「ご利用の地域」を選んでください
- 地域ごとの「放送局名一覧」は**36～39**ページをご覧ください。

コントラスト CONTRAST

表示窓のコントラストを調節することができます。運転席から表示窓がよく見えるように調節します。

- **CONTRAST 1～CONTRAST 10**

スクロール
SCROLL

表示窓の文字表示(11文字以上)がスクロール表示されるとききのモードが選べます。

- ^{ワンス} **ONCE** : DISPボタンで表示内容を切換えたときや曲が切変わったときに1回スクロール。
- **AUTO** : 一定時間ごとにスクロールをくり返す。
- **OFF** : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロール。

エクスターナル インプット
EXT INPUT

CDチェンジャー端子に他の機器を接続するときは「EXT INPUT」に切換えます。ソース(音源)を「ラジオ」にしてから切換えます。

- ^{チェンジャー} **CHANGER** : CDチェンジャーをつなぐとき(お買上げ時の状態)
- **EXT INPUT** : 他の機器をつなぐとき

イーユーエックス アジャスト
AUX ADJUST

フロントAUX端子の入力感度を調節することができます。

- **AUX ADJ 00** ~ **AUX ADJ 05** の範囲で調節できます。

タグ ディスプレイ
TAG DISP

MP3ディスクのID3 TAG表示を「オン/オフ」することができます。

- **TAG ON** : ID3 TAG表示をする
- **TAG OFF** : ID3 TAG表示はしない

アンプ ゲイン
AMP GAIN

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続したスピーカーの最大入力ワット数に合わせて切換えます。

- ^{ハイ} **HIGH PWR** ^{パワー} : スピーカーの最大入力
50Wを超えるとき
(VOL 00 ~ VOL 50)
- ^{ロー} **LOW PWR** : スピーカーの最大入力
50W以下のとき
(VOL 00 ~ VOL 30)

フィルター
IF FILTER

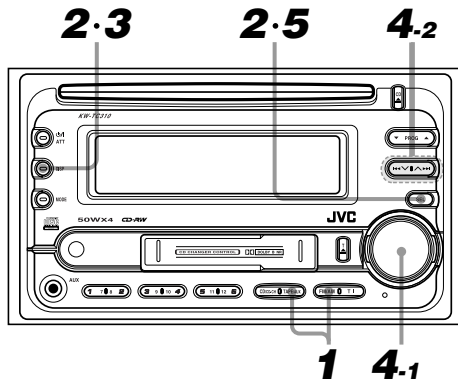
隣接妨害波の影響を軽減することができます。

- ^{オート} **AUTO** : 隣接妨害波の有無によって自動でIFフィルターの帯域幅を切り換えます。
- ^{ワイド} **WIDE** : 通常の帯域幅のIFフィルターに固定します。

文字の入力のしかた

文字の入力と修正・削除

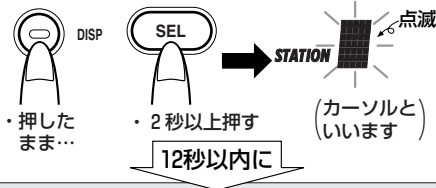
放送局名を30局分／最大10文字、AUXは10文字まで入力できます。



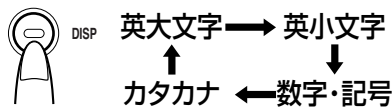
1 **FM/AM** または **TAPES/AUX** を押してソース（音源）を「ラジオ」または「AUX」にする

2 **DISP** を押したまま **SEL** を同時に2秒以上押す

例：ラジオを選んだとき



3 **DISP** で文字の種類を選ぶ

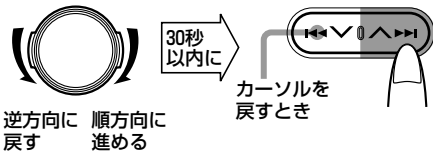


・カーソルと文字の種類の間一文字が交互に点滅表示されます。
文字の種類については33ページの「文字記列表」をご覧ください。

12秒以内に

4 **○**（回転ボリューム）と **▶▶** で局名を入力する

（4-1と4-2をくり返す）



4-1 文字を選び… **4-2** カーソルを右に移す

- ・文字を間違えたときは、**◀◀** ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームを回して正しい文字を上書きします。スペース（空白）を選んで**▶▶** ボタンを押すと、文字を消すこともできます。
- ・「AUX INPUT」表示を別の名前に変更するときは、上書きで修正します。

12秒以内に

5 **SEL** を押して文字を確定する

〈お知らせ〉

- ・文字を確定するときは、必ず**SEL**ボタンを押してください。押さないと確定されません。
- ・31局目の放送局名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。
- ・全てスペース（空白）を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあと**DISP**ボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。このあと**SEL**ボタンを押して確定します。

文字配列表

● 英大文字

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	(空白)			

● 英小文字

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z	(空白)			

● 数字・記号

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
!	"	#	\$	%	&	'	()	*
+	,	-	.	/	:	;	<	=	>
?	@	_	`	(空白)					

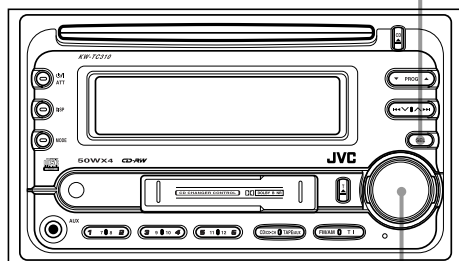
● カタカナ

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ		
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン		
ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
ー	°	´	(空白)						

〈お知らせ〉

- 本機は、この 文字配列表 以外の文字・記号は入力できません。
- 入力した放送局名をメーカープリセットの放送局名に戻すときは、**32**ページの手順**1**、**2**のあとDISPボタンを1秒以上押して放送局名を全て消し、SELボタンで確定します。そのあと**29**、**30**ページのStationSetの操作で「ご利用の地域」を選びます。

音量・音質の調節



1 SELを押して調節したい項目を選ぶ



・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOLUME)のみのときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

2 (回転ボリューム)を回して音量を調節する



FADER (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
LOUD (ラウドネス)	通常の音質 (ラウドネスOFF)	小音量時の低音・高音を強化
VOLUME (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

● 音量の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	調節範囲
FADER(フェーダー)	00(センター)	リア R06~F06 フロント
BAL(バランス)	00(センター)	左 L06~R06 ライト
LOUD(ラウドネス)	OFF	ON/OFF
VOLUME(音量)	15	00~50 (30*)

*「AMP GAIN」を「LOW PWR」に設定すると調節範囲が00～30に変わります(→29、31ページ参照)。

＜お知らせ＞

- ・ラウドネス「ON」に設定すると、表示窓に**LOUD**と表示されます。小音量時の低音・高音が強化され聞きやすくなります。
- ・フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- ・調節したレベルが表示窓に表示されます。

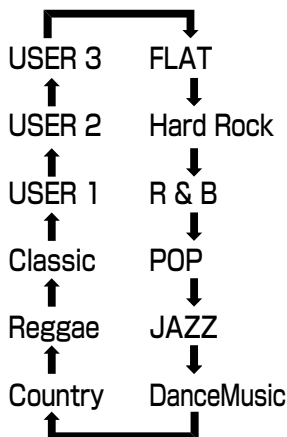
EQパターンの呼び出し

EQ(イコライザー)を使うと、お聞きになる音楽のジャンルに合わせて音質が選べます。



・SELボタン1回押しで「EQ」を表示させます。

・回転ボリュームを回してEQパターンを選びます。



・回転ボリュームを右方向に回したとき(左方向に回すと逆に選べます)

〈お知らせ〉

- ・「USER 1～3」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- ・別売りのリモコン(RM-RK41J)で操作する



SOUNDボタンを押すと、EQパターンが上の図の順にダイレクトに選べます。

調節したEQパターンをメモリーしておく

EQの各パターンは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

1 ソース(音源)を選ぶ

- ・ラジオまたはCDを選びます。

2 SEL を1回押したあと5秒以内に でいずれかのEQパターンを選ぶ

- ・FLAT～USER 3のいずれかが選べます(左の図参照)。

5秒以内に

3 を押して調節したい内容を選ぶ



5秒以内に

4 を押して選んだ内容を調節する

- ・調節した内容が表示窓に表示されます。
- ・手順3と4をくり返して好みの音質に調節します。

5秒以内に

5 を押したあとメモリーしたいEQパターン(USER 1～USER 3)のいずれかを で選び、 を押す

- ・調節から5秒後に、「MEMORY」が表示され表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルは自動的にメモリーされます。

放送局名一覽

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
北海道(FM)	AIR-G'	AIR-G'	札幌	80.4MHz
	FMノースウェーブ	FMノースウェーブ	〃	82.5MHz
	NHK-FM	NHK-FM	〃	85.2MHz
	〃	〃	旭川	85.8MHz
	〃	〃	北見	86.0MHz
	〃	〃	函館	87.0MHz
	〃	〃	帯広	87.5MHz
	〃	〃	室蘭	88.0MHz
	〃	〃	釧路	88.5MHz
	北海道(AM)	NHK第1	NHKダイ1	札幌
〃		〃	釧路	585kHz
〃		〃	帯広	603kHz
〃		〃	旭川	621kHz
STVラジオ		STVラジオ	函館	639kHz
NHK第1		NHKダイ1	〃	675kHz
NHK第2		NHKダイ2	北見	702kHz
〃		〃	札幌	747kHz
HBCラジオ		HBCラジオ	旭川	864kHz
〃		〃	室蘭	864kHz
STVラジオ	STVラジオ	釧路	882kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	函館	900kHz	
北海道(AM)	STVラジオ	STVラジオ	網走	909kHz
	NHK第1	NHKダイ1	室蘭	945kHz
	STVラジオ	STVラジオ	帯広	1,071kHz
	NHK第2	NHKダイ2	室蘭	1,125kHz
	〃	〃	帯広	1,125kHz
	〃	〃	釧路	1,152kHz
	NHK第1	NHKダイ1	北見	1,188kHz
	STVラジオ	STVラジオ	旭川	1,197kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	帯広	1,269kHz
	HBCラジオ	HBCラジオ	札幌	1,287kHz
〃	〃	稚内	1,368kHz	
〃	〃	釧路	1,404kHz	
STVラジオ	STVラジオ	札幌	1,440kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	網走	1,449kHz	
NHK第2	NHKダイ2	函館	1,467kHz	
HBCラジオ	HBCラジオ	名寄	1,494kHz	
NHK第2	NHKダイ2	旭川	1,602kHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
東	FM岩手	FMイワテ	盛岡	76.1MHz	
	FM仙台	Date FM	仙台	77.1MHz	
	エフエム青森	エフエムアオモリ	青森	80.0MHz	
	FM山形	FMヤマガタ	山形	80.4MHz	
	ふくしまFM	フクシマFM	郡山	81.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	山形	82.1MHz	
	〃	〃	仙台	82.5MHz	
	FM秋田	FMアキタ	秋田	82.8MHz	
	NHK-FM	NHK-FM	盛岡	83.1MHz	
	〃	〃	福島	85.3MHz	
〃	〃	青森	86.0MHz		
〃	〃	秋田	86.7MHz		
東	NHK第1	NHKダイ1	盛岡	531kHz	
	〃	〃	山形	540kHz	
	IBC岩手放送	IBCイワテホウソウ	盛岡	684kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	秋田	774kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	仙台	891kHz	
	山形放送	ヤマガタホウソウ	山形	918kHz	
	秋田放送	アキタホウソウ	秋田	936kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	青森	963kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	仙台	1,089kHz	
	青森放送	アオモリホウソウ	青森	1,233kHz	
東北放送	トウホクホウソウ	仙台	1,260kHz		
北(AM)	NHK第1	NHKダイ1	福島	1,323kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	盛岡	1,386kHz	
	ラジオ福島	ラジオフクシマ	福島	1,458kHz	
	NHK第1	NHKダイ1	秋田	1,503kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	山形	1,521kHz	
	AFN	AFN	三沢	1,575kHz	
	NHK第2	NHKダイ2	福島	1,602kHz	
	関東地方(FM)	インターFM	インターFM	東京	76.1MHz
		FM栃木	レディオ・ベリー	宇都宮	76.4MHz
		放送大学	ホウソウダイガク	東京	77.1MHz
BAY-FM		BAY-FM	船橋	78.0MHz	
FM-FUJI		FM-FUJI	三ツ峠	78.6MHz	
放送大学		ホウソウダイガク	前橋	78.8MHz	
NACK 5		NACK 5	さいたま	79.5MHz	
TOKYO FM		TOKYO FM	東京	80.0MHz	
NHK-FM		NHK-FM	宇都宮	80.3MHz	
〃		〃	千葉	80.7MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
関東地方(FM)	J-WAVE	J-WAVE	東京	81.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	前橋	81.6MHz
	〃	〃	横浜	81.9MHz
	〃	〃	東京	82.5MHz
	〃	〃	水戸	83.2MHz
	FMヨコハマ	FMヨコハマ	横浜	84.7MHz
関東地方(FM)	NHK-FM FM群馬	NHK-FM FMグンマ	さいたま 前橋	85.1MHz 86.3MHz
	関東地方(AM)	NHK第1	NHKダイ1	東京
NHK第2		NHKダイ2	〃	693kHz
AFN		AFN	〃	810kHz
TBSラジオ		TBSラジオ	〃	954kHz
文化放送		ブンカホウソウ	〃	1,134kHz
茨城放送		イバラキホウソウ	水戸	1,197kHz
ニッポン放送		ニッポンホウソウ	東京	1,242kHz
ラジオ日本		ラジオニッポン	横浜	1,422kHz
栃木放送		トチギホウソウ	宇都宮	1,530kHz
中部地方(AM)	FM福井	FMフクイ	福井	76.1MHz
	FM新潟	FMニイガタ	新潟	77.5MHz
	ZIP FM	ZIP FM	名古屋	77.8MHz
	新潟県民エフエム	FM Port	新潟	79.0MHz
	K-MIX	K-MIX	静岡	79.2MHz
	RADIO-i	RADIO-i	名古屋	79.5MHz
	FM長野	FM ナガノ	美ヶ原	79.7MHz
	岐阜FM	ギフ FM	高山	80.0MHz
	FM石川	FM イシカワ	金沢	80.5MHz
	中部地方(FM)	FM AICHI	FMA	名古屋
NHK-FM		NHK-FM	富山	81.5MHz
〃		〃	金沢	82.2MHz
〃		〃	新潟	82.3MHz
〃		〃	名古屋	82.5MHz
FMとやま		FMトヤマ	富山	82.7MHz
FM-FUJI		FM-FUJI	坊ヶ峰	83.0MHz
NHK-FM		NHK-FM	福井	83.4MHz
〃		〃	岐阜	83.6MHz
〃		〃	長野	84.0MHz
〃	〃	甲府	85.6MHz	
〃	〃	静岡	88.8MHz	

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
中部地方(AM)	NHK第2	NHKダイ2	静岡	639kHz
	NHK第1	NHKダイ1	富山	648kHz
	〃	〃	名古屋	729kHz
	北日本放送	キタノホンホウソウ	富山	738kHz
	YBSラジオ	YBSラジオ	甲府	765kHz
	NHK第1	NHKダイ1	長野	819kHz
	NHK第1	NHKダイ1	新潟	837kHz
	福井放送	フクイホウソウ	福井	864kHz
	NHK第1	NHKダイ1	静岡	882kHz
	NHK第2	NHKダイ2	名古屋	909kHz
NHK第1	NHKダイ1	福井	927kHz	
〃	〃	甲府	927kHz	
NHK第2	NHKダイ2	富山	1,035kHz	
中部地方(AM)	CBCラジオ	CBCラジオ	名古屋	1,053kHz
	信越放送	シンエツホウソウ	長野	1,098kHz
	北陸放送	ホクリクホウソウ	金沢	1,107kHz
	新潟放送	ニイガタホウソウ	新潟	1,116kHz
	NHK第1	NHKダイ1	金沢	1,224kHz
	東海ラジオ	トウカイラジオ	名古屋	1,332kHz
	NHK第2	NHKダイ2	金沢	1,386kHz
	静岡放送	シズオカホウソウ	静岡	1,404kHz
	岐阜ラジオ	ギフラジオ	岐阜	1,431kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長野	1,467kHz
〃	〃	福井	1,521kHz	
〃	〃	新潟	1,593kHz	
〃	〃	甲府	1,602kHz	
近畿地方(FM)	FM CO-CO-LO	CO-CO-LO	生駒山	76.5MHz
	E-Radio	E-Radio	滋賀	77.0MHz
	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	姫路	77.6MHz
	FM三重	FM ミエ	津	78.9MHz
	FM 802	FM 802	大阪	80.2MHz
	NHK-FM	NHK-FM	津	81.8MHz
	〃	〃	京都	82.8MHz
	〃	〃	大津	84.0MHz
	〃	〃	和歌山	84.7MHz
	FM大阪	fm osaka	大阪	85.1MHz
NHK-FM	NHK-FM	神戸	86.5MHz	
〃	〃	奈良	87.4MHz	
〃	〃	大阪	88.1MHz	
FM京都	α-STATION	京都	89.4MHz	
Kiss-FM KOBE	Kiss-FM	神戸	89.9MHz	

放送局名一覧(つづき)

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数		
近畿地方(AFM)	AM KOBE NHK第1 ◇ NHK第2 ABCラジオ KBS京都	AM KOBE NHKダイ1 ◇ NHKダイ2 ABCラジオ KBSキョウト	神戸 京都 大阪 大阪 ◇ 京都	558kHz 621kHz 666kHz 828kHz 1,008kHz 1,143kHz		
	MBSラジオ ラジオ大阪 和歌山放送	MBSラジオ ラジオオオサカ ワカヤマホウソウ	大阪 ◇ 和歌山	1,179kHz 1,314kHz 1,431kHz		
	中国地方(FM)	岡山エフエム放送 エフエム山陰 広島FM FM山口 NHK-FM ◇ ◇ エフエム山陰 NHK-FM ◇	FMオカヤマ エフエムサンイン ヒロシマFM FMヤマグチ NHK-FM ◇ ◇ エフエムサンイン NHK-FM ◇	岡山 松江 広島 山口 松江 山口 鳥取 浜田 広島 岡山	76.8MHz 77.4MHz 78.2MHz 79.2MHz 84.5MHz 85.3MHz 85.8MHz 86.6MHz 88.3MHz 88.7MHz	
		中国地方(AFM)	NHK第1 ◇ NHK第2 山口放送 山陰放送 NHK第1	NHKダイ1 ◇ NHKダイ2 ヤマグチホウソウ サンインホウソウ NHKダイ1	岡山 山口 広島 徳山 米子 下関	603kHz 675kHz 702kHz 765kHz 900kHz 1,026kHz
			NHK第1 NHK第2 NHK第1 中国放送 NHK第1	NHKダイ1 NHKダイ2 NHKダイ1 チュウゴクホウソウ NHKダイ1	広島 鳥取 松江 広島 鳥取	1,071kHz 1,125kHz 1,296kHz 1,350kHz 1,368kHz
			NHK第2 ◇ 山陽放送 AFN NHK第2	NHKダイ2 ◇ サンヨウホウソウ AFN NHKダイ2	山口 岡山 岩国 松江	1,377kHz 1,386kHz 1,494kHz 1,575kHz 1,593kHz
			四国地方(FM)	FM香川 FM愛媛 FM徳島 FM高知 NHK-FM	FMカガワ FMエヒメ FMトクシマ FMコウチ NHK-FM	高松 松山 徳島 高知 徳島

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数	
四国地方(FM)	NHK-FM ◇ ◇	NHK-FM ◇ ◇	高松 高知 松山	86.0MHz 87.5MHz 87.7MHz	
	四国地方(AFM)	高知放送 NHK第1 ◇ ◇ NHK第2 南海放送	コウチホウソウ NHKダイ1 ◇ ◇ NHKダイ2 ナンカイホウソウ	高知 徳島 松山 高知 高松 松山	900kHz 945kHz 963kHz 990kHz 1,035kHz 1,116kHz
		NHK第2 四国放送 NHK第1 西日本放送 NHK第2	NHKダイ2 シコクホウソウ NHKダイ1 ニシニホンホウソウ NHKダイ2	高知 徳島 高松 ◇ 松山	1,152kHz 1,269kHz 1,368kHz 1,449kHz 1,512kHz
九州地方(FM)		Love FM FM中九州	Love FM FMナカキュウシュウ	福岡 熊本	76.1MHz 77.4MHz
		FM佐賀 CROSS FM SMILE-FM FM鹿児島 FM福岡	FMサガ CROSS FM SMILE-FM FMカゴシマ FMフクオカ	佐賀 福岡 長崎 鹿児島 福岡	77.9MHz 78.7MHz 79.5MHz 79.8MHz 80.7MHz
		NHK-FM FM宮崎 NHK-FM ◇ ◇ ◇	NHK-FM FMミヤザキ NHK-FM ◇ ◇ ◇	佐賀 宮崎 長崎 福岡 熊本	81.6MHz 83.2MHz 84.5MHz 84.8MHz 85.4MHz
		NHK-FM ◇ ◇ ◇ ◇ FM大分 NHK-FM	NHK-FM ◇ ◇ ◇ ◇ FMオオイタ NHK-FM	鹿児島 北九州 佐世保 宮崎 大分 ◇	85.6MHz 85.7MHz 86.0MHz 86.2MHz 88.0MHz 88.9MHz
		九州地方(AFM)	NHK第1 ◇ ◇ ◇ NHK第1 ◇ ◇ NHK第2	NHKダイ1 ◇ ◇ ◇ NHKダイ1 ◇ ◇ NHKダイ2	宮崎 鹿児島 福岡 大分 熊崎 熊本 熊本

	放送局名	ステーションネーム	場所	周波数
九州 地方(A・M)	宮崎放送	ミヤザキホウソウ	宮崎	936kHz
	NHK第1	NHKダイ1	佐賀	963kHz
	NHK第2	NHKダイ2	福岡	1,017kHz
	大分放送	オオイタホウソウ	大分	1,098kHz
	南日本放送	ミナミニホンホウソウ	隼人	1,107kHz
	熊本放送	クマモトホウソウ	熊本	1,197kHz
	長崎放送	ナガサキホウソウ	長崎	1,233kHz
	RKBラジオ	RKBラジオ	福岡	1,278kHz
	NHK第2	NHKダイ2	長崎	1,377kHz
	◇	◇	鹿児島	1,386kHz
	KBCラジオ	KBCラジオ	福岡	1,413kHz
	NHK第2	NHKダイ2	大分	1,467kHz
	◇	◇	宮崎	1,467kHz
	AFN	AFN	佐世保	1,575kHz
沖縄(F・M)	FM 沖縄	FM オキナワ	那覇	87.3MHz
	NHK-FM	NHK-FM	沖縄	88.1MHz
	AFN-沖縄	FM AFN	◇	89.1MHz
沖縄(A・M)	NHK第1	NHKダイ1	沖縄	549kHz
	AFN	AFN	◇	648kHz
	琉球放送	リュウキュウホウソウ	那覇	738kHz
	ラジオ沖縄	ラジオオキナワ	◇	864kHz
	NHK第2	NHKダイ2	◇	1,125kHz

故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

症 状	原 因 ・ 処 置
どのボタンを押しても正しく動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 →リセットボタンを押す(→9ページ参照)。 (時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)
CDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量を適度に調節する。 ● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。 ● CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクを使用している。 →ディスクのマークを確認する(→17ページ参照)。
ディスクが出てきてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてCDを入れ直す。 ● ディスクの読み取りでエラーが発生しています。 →ディスクを入れ直す。または他のディスクを入れて本機が異常でないかを確認する。
CD-R/CD-RWディスクの再生、スキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。または録音した機器でファイナライズ処理する。
放送がうまく受信できない。雑音が多くて聞きにくい。AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確認する。またはアンテナが十分に伸びているか確認する。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブースター電源端子)に本機のアンテナコントロール電源コード(青)を正しく接続する。 ● 車両側のアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ている場合、本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。
ディスクの出し入れのとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの出し入れのときは、音声にミュートングをかけて雑音の発生を防いでいるため故障ではありません。
電源を切ったが「ATT」表示が点滅する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 0/I(電源)/ATTボタンを「SEE YOU」が表示されるまで(1秒以上)押す。
電源が入らない。(DISPボタンを押すと)時計は表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 「電源(ACCライン)」コード(赤)が接続されていないため ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため →12ページ参照

こんな表示のときは

症 状	原因・処置
EJECT ERR	<ul style="list-style-type: none"> ● CDの読み取りでエラーが発生したため。 ● CD-R/RWに記録したデータが劣化している(⇒18ページ)。 ● ファイナライズ処理がされていない(⇒18ページ)。 ⇒CD▲(取出し)ボタンを押したあとCDを入れ直す。 または他のCDを入れ直して本機が異常でないか確かめる。 ● CDの取り出しができなかったため。 ⇒CD挿入口の障害物を取り除きCD▲(取出し)ボタンを押す。
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。
NO DISC	<ul style="list-style-type: none"> ● CDが入っていないときにCD/CD-CHボタンを押したため。 ⇒CDを入れる。
NO EJECTが点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 盗難防止状態になっている。 ⇒盗難防止状態を解除する(⇒20、23ページ参照)。
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 ⇒CDチェンジャーとの接続コードを確認する。
RESET ^{数字} ○	<ul style="list-style-type: none"> ● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 ⇒CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

40~41ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやテープなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() —

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング
周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：99dB

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
●受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
●実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
●受信周波数：522kHz～1,629kHz
●実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

カセットプレーヤー部

- トラック方式：コンパクトカセット・ステレオ
- ワウ・フラッター：0.1%W・RMS
- 早巻き時間：約100秒(C-60)
- 周波数特性(再生)：ノーマルテープ 30Hz～16kHz
- SN比(ノーマルテープ)：DOLBY B NR ON 65dB
DOLBY NR OFF 54dB

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
リア 50W+50W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1
：AUX(ϕ 3.5ステレオミニ)×1
- 出力端子：RCAピン(1系統、リア)
2.0V/1k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行158mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ100mm×奥行175mm
- 質量：約2.3kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)……………1
- ・ネジ(M5×8mm)……………8
- ・皿ネジ(M5×8mm)……………8
- ・マウンティングプレート(日産車用)………1

別売りのオプション品

- ・RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)
- ・接続コード(ステレオミニプラグ)：CN-203A(長さ1.5m)
- ・変換コード：KS-U57(RCAプラグ)
KS-U58(ステレオミニプラグ)
- ・リモコン：RM-RK41J

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
(品番は変更されることがあります)

お手入れ

本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ヘッド部の清掃

ヘッドは音をひろい出す大切な部分です。ヘッドが汚れると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 音がとぎれる。



などの症状がでます。

症状が出てくる前に(およそ10時間使うごと)に、市販のオートヘッドクリーナーを使ってヘッド部を清掃してください。

詳しくはオートヘッドクリーナーの説明書を参照してください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーAV お客様ご相談センター

別紙の

「JVCカーAV 製品サービス窓口案内」を
ご覧ください。

F 0120-977-846 (フリーコール)
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目1番地の1

- ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについては、**42ページ**をご覧ください。

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.victor.co.jp/>

カーAVホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12